



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

自立できる子どもも育てよう

地域協働合校が18年度活動方針

志津南地区地域協働合校推進委員会は5月10日、志津南市民センター(公民館)で今年度初の委員会を開催、上田恒章会長ら18年度推進委員を選出するとともに、「自立できる子どもを育てる」をテーマとする事業計画を審議しました。

委員会は平成17年度の事業報告、決算報告を承認したあと、役員を選出(別項)、「生きるよろこびを共有しよう」との基本方針を決めました。さらに今年度は「自立できる

子どもを育てよう」を主題にした事業それぞれにテーマを設定した事業推進 志津南小学校との調整・連携 安全を最重視した事業推進 の3つを柱に個々の事業計画を実施していくことを確認しました。

事業計画の骨子は別表の通りですが、それぞれの詳細については、今後さらに検討していくことにしました。

【地域協働合校とは】
平成10年から始まった小学校区あるいは地区など地域を単位として、子どもと大人が世代を超えて、変化する社会に協働で対応するために共に学び合う社会(校)で、今年で9年目を迎えます。



竹細工を通して工夫の楽しさを学ぶ

校基本理念は学校・家庭・地域の3つの教育機能を統合

時期	テーマと事業内容	対象者
4月～6月	自然の大切さを学ぶ 「たけのこ掘り、竹細工を通して自然の大切さと工夫の楽しさを学ぶ」	親子と地域住民
7月～9月	自立心育成をはかる 「ふれあい夏祭り、地域一斉清掃に参加し大人との協働、身近な環境への関心を高める」 「宿泊体験を通して子どもの自立心を高める」	子どもと地域住民
10月～12月	ふれあいを深める 「親子ふれあいハイキングを通して住民同士のふれあいを深める」	子どもと地域住民
1月～3月	地域外で体験する 「地域外への野外体験など地域外に出かけ、自然と出会い、人々のふれあいを深める」	子どもと地域住民
通年 毎月10日	あいさつ運動 「通学時のあいさつ運動で子ども達に声をかけあい交流を深め、安全確保をはかる」	子どもと地域住民

するシステムをつくるため子どもと大人が協働する人や社会に対して自分は何ができるか強く意識するを主眼に子どもと大人のかかわり合い子ども主体性を尊重しながら年齢層を超えた子どもと大人のかかわり合いの構築 自分の学びを人に教え、共に学び合う喜びのある生涯学習の推進 ボランティアのネットワーク化や環境・福祉などさまざまな分野での市民ボランティア活動の支援 生きがいのあるまちづくりを目標にしています。

平成18年度委員	
会長	上田 恒章(学識経験者)
副会長	小嶋 昭久(志津南自治連合会長)
委員	鷹羽美榮子(志津南小学校長)
委員	小野栄祐(社会福祉協議会長)
委員	萩原 常雄(青少年育成区民会議会長)
委員	大倉 清廣(わんぱくプラザ実行委員長)
委員	岩井 淑郎(志津南地区体育振興会長)
委員	垣根 和子(民児協主)
任児童委員	丸山 和子(子ども会会長)
任児童委員	早川 周作(志津南小学校PTA会長)
任児童委員	妹尾 志郎(学識経験者)
任児童委員	富田 清司(志津南小学校教頭)
任児童委員	鳥山 博乃(志津南公民館)
任児童委員	水野 敏昭(志津南小地域コーディネータ)
任児童委員	三上 康晴(志津南公民館長)

生垣や庭木の手入れ任せて 社協が“緑の十字軍”構想



自分で生垣や庭木の手入れが困難な人を助けようと、志津南社会福祉協議会が剪定や刈り込みなどを手助けする「緑の手入れボランティア」の立ち上げ準備を進めています。

高齢化が進み、肉体的に自分で自宅の庭木などの手入れを負擔に感じる人が増えていると思われることから、同社協が町並み保存にもつながる「緑の手入れボランティアグループ」（仮称）を立ち上げ、こうした人たちのお手伝いをするボランティア活動の準備を始めたものです。活動を開始するにあたっては、まず垣根や庭木などの剪定の手助けを希望する人が、どの程度

いるのか、その数を把握するため民生委員に協力を求め、高齢者から話を聞いていくことからスタートすることにしています。

ボランティア作業の内容は、マツなど専門技術を要する樹木の手入れを除いた一般的な垣根の剪定・庭の中低木の手入れを基本に考えていますが、ボランティアの中には専門技術を持っている人もあり、どうすればよいか、意見を聞きながら進めていく考えです。

ボランティアは本来、無償が理想ですが、剪定作業は手間も掛かり暑い時期にはかなりきつい作業です。また、一時の活動でなく将来にわたって続けられることが大切です。そうしたことから、ボランティアを利用する人に大きな負担にならない程度の手間賃を考えています。

具体的な活動は希望者数を把握した上で活動を開始する予定ですが、同時に、剪定した枝の処分方法（一般ゴミ袋の確保、クリーンセンターへの持ち込み）剪定した生木を乾燥させるための仮置き場の確保、剪定した

枝の持ち込みに関しクリーンセンターの協力の取り付け、剪定機具の確保、申し込み方法などの問題についてもクリアしなければなりません。

なお、現在ボランティアに名乗りを上げているのは数人です。長続きさせるにはもっと多くの人の参加が必要です。月に1回でも構いません、出来るだけ多くの参加者を募ります。詳細は改めてお知らせします。（社会福祉協議会）

安易な救急要請は控えて 西消防分署が住民に呼びかけ

西消防分署が住民に呼びかけ

志津南地区を管内に持つ湖南消防本部西消防分署の救急出動が急増、出動要請に感じきれない事態に至っている状況から、

同署では安易な出動要請を控えてほしいと呼びかけています。同署によると、草津・守山・栗東・野洲の4市で構成す湖南広域行政組合消防本部は管内の救急需要に対し救急車は11台。

ていますが、その半数以上は軽症だということです。近年、救急出動は全国的に増加の一途をたどっていますが、本当に必要なに迫られて出動を要請しているのか、その利用のあり方が問われています。

予防救急医療的な観点から少しでも様子や状態がおかしくなれば、早めに医療機関を受診したり、定期的に検診や健康診断を受けるなど、日ごろから自分で対応することが重要です。その一方、突発的な事故や病状の急変などで病院に運んだ方がよいと判断した時は迷わず119番して下さい」（同署）としており、同署は「救急車を呼ぶことが悪いのではなく、いまま

一度、健康や病気について一人ひとりが真剣に考え、命の尊さを再認識し、救急車を適正に利用してほしいのです」と話しています。

昨年1年間の救急出動回数は一〇、五九三件と一万件を超え、前年と比較すると千八百件の増加となっており、1日平均29件、約49分に1回出動しています。救急搬送のうち、最も多いのが急病で全体の57%を占めるといった問題もあります。

【問い合わせ電話】
西消防署 568 0119
西消防分署564 4951



平成17年度収支決算報告

歳入の部		決算金額
繰越	金	139,257
会費	費	424,000
草津市社協補助金	金	1,033,330
自治連助成金	金	150,000
雑収入	入	74,905
合計		1,821,492
歳出の部		決算金額
市社協分担金	金	126,000
草津市社協補助金事業	事業	1,036,341
高齢者仲間づくり事業	事業	30,000
高齢者健康維持事業	事業	37,409
子どもと高齢者のふれあい事業	事業	75,000
子育て支援事業	事業	55,000
備品	品	53,820
自治連合会助成金	金	174,042
ボランティア活動	活動	29,196
予備費	費	42,144
合計		1,658,952
次期繰越金		165,5540

ごみ処理の実情を学ぶ

成果あった南っ子館外研修

「わんぱくプラザ南っ子」が5月20日、館外研修で大阪市環境事業局を訪れ、ごみ処理施設を見学するとともに、海遊館



ゴミ処理の流れを聞く子どもたち

では魚の飼育や自然との共存などについて学びました。

この日午前8時すぎ、志津南公民館に集合した39人の南っ子は引率の5人とともにバスで公民館を出発。1時間ちよつとのおとぎ話に出てくるお城のような大阪市環境事業局（ごみ処理・焼却工場）に到着しました。説明を聞きながら施設を見学した子どもたちは、900度前後の高温でごみを焼却、ダイオキシン類の発生を抑え、悪臭を分解したり、焼却熱を電力に使用することに驚くとともに、なぜ分別収集が必要なのかを理解

体振功労賞に佐々木さん

組織拡大、後継者育成に尽力

若草3丁目の佐々木奉昭さんが、草津市体育振興会連絡協議会の第一回体育振興功労賞に選



表彰を受けた佐々木さん

ばれ、6月11日、草津市野村運動公園で行われた市民スポーツ祭の席上で表彰されました。

昭和59年に開発されたグリーンヒル団地第一期の入居以来21年間にわたる地区の体育振興に尽力した功績が認められたものです。

しました。

お昼からの海遊館では飼育係から、海遊館の仕組み、仕事の話を聞きました。魚が住みやすい環境を維持していくことはとても大切で、しかも大変なこと

夏をひかえて各地で清掃

中央公園で草刈り奉仕



汗を流して雑草刈り

佐々木さんは入居当初、少なかった住民の中で率先して体育振興活動に取り組み、平成10年に志津学区と分離独立した地区体育振興会の体制固めに力を注ぎ、現在の志津南地区体育振興会の基礎を築きました。なかでも、校区の少子化に悩む志津南小学校と地域住民との合同運動会実現に果たした役割は草津市からも高く評価されました。

なのだと感じました。

子どもたちがこれから自然とどう共存していけばいいのかを考えるいい機会となったように思います。関係者のみなさん、ありがとうございました

新緑の5月、町並みは鮮やかな緑に包まれ、各家庭では庭木の剪定に追われる時期となりましたが、若草中央公園の雑草も元気よく伸び、むさくるしい様相を呈していました。

このため、日頃からグラウンドゴルフの練習場として利用している志津南老人クラブ連合会若草会員15人が5月17日、草刈り奉仕に汗を流しました。

きれいになった中央公園ではさっそく子どもたちがボール遊びに興じる姿を目にし、すがすがしい気分になりました。

しかし、公園にはポイ捨ての空き缶や犬の糞などがあちこちに見受けられ、いつこに改善されないマナーを残念に思いました。

みんなが気持ちよく親しめる公園であってほしいと多くの人は願っています。そんな人たちの身になってマナーを守るよう

心がけてほしいものです。

(老人クラブ若草会)

4・5丁目が共同清掃



みんなで町を美しく

若草4丁目、5丁目町内会が5月21の日曜日、並木通りや中央公園などの清掃活動を行いました。

両町内会合同の一斉清掃活動は今回が初めて。午前9時から約1時間にわたって総勢100人の住民が、4丁目は児童公園と並木通りを、5丁目は中央公園を中心に雑草刈りやごみ拾い、むさくるしさを取り除きました。

この日は夏日に近く、参加者は汗だくになりながらも少しでも町を美しくと作業に取り組んでいました。

参加してくださった方々に感謝申し上げます。

(4・5丁目町内会長)

社協ボランティアも

社協の環境美化ボランティアも5月27日、東公園周辺歩道の低木の剪定と草刈りを行いました。

東公園は志津南小学校児童の登下校の通学路で、参加者は「子供たちが安全に通学できるように」と願っていました。また、公園の入口付近に散乱していた砂をならし、すべり台付近の段差など危険な箇所も手入れしました。



整備された砂場とさっぱりした東公園通学路

こよみ

- 6月21日(水) 古今東西「湖南三山めぐり」 9:00~15:00 志津南公民館集合
- 6月24日(土) 社会奉仕(若寿会) 8:45 若草中央公園集合 紳士淑女の井戸端会議 「自転車で見て回った琵琶湖岸の風景とまちづくり」 10:00~12:00 志津南公民館
- 6月26日(月) 親睦バス旅行(若寿会) 9:30~16:00 志津南公民館集合
- 6月27日(火) 地域サロン「懐メロを歌う会」 10:00~11:30 志津南公民館
- 6月28日(水) やすらぎ学級 「地域における心のふれあい」 13:30~14:45 志津南公民館
- 7月1日(土) 健康ウォーキング(若寿会) 8:15 若草中央公園集合
- 7月3日(月) たんぼぼクラブ七夕会 10:00~12:00 志津南公民館
- 7月7日(金) 定例健康相談 9:30~12:00 志津南公民館 ふれあい昼食会 12:00~ 志津南公民館
- 7月8日(土) 紳士淑女の井戸端会議 「ガラスの風鈴を作ろう」 10:00~12:00 志津南公民館
- 7月11日(火) 地域サロン 「懐メロを歌う会」 10:00~11:30 志津南公民館
- 7月14日(金) ファミサボキャラバン隊 10:00~12:00 志津南公民館
- 7月15日(土) 健康ウォーキング(若寿会) 8:15 若草中央公園集合
- 7月19日(水) 古今東西「水引づくり」 9:00~12:00 志津南公民館

体操サークル ポコ・ア・ポコ

美ウオーク夢見て



はじめまして。今年の5月に志津南公民館の自主教室としてスタートしたばかり、できたての「ポコ・ア・ポコ」です。体操と言えは、鉄棒にマツト運動?いえいえ、そつではありません。オシャレでポップな音楽に合わせて体を動かす体操です。

リズムののつてステップを踏

「ポコ・ア・ポコ」です。体操と言えは、鉄棒にマツト運動?いえいえ、そつではありません。オシャレでポップな音楽に合わせて体を動かす体操です。

リズムののつてステップを踏

「肩こりなくすぞー。」「夏までに二の腕を...」と「いつまでも若々しく」「背筋を伸ばして美ウオーク夢見て...」エトセトラ。想いはそれぞれですが、楽しい仲間と一緒にいい汗をかいています。現在、活動は、講師の石田恵子先生にご指導をいただきます。

みながら基礎代謝をアップさせるとともに、筋力を維持するための運動筋肉の柔軟性に応じて「ベルト」の適度な伸びを利用して関節の可動域を広げる体操。それから床に寝てのストレッチ。どれもやってみると、いかにふだん使っていない筋肉の多いことか。体の体操に頭の体操。悪戦苦闘しながらも、みんなマイペースでがんばっています。

【連絡先】
木村 562 9181
吉坂 562 0020
藤解 564 6735

毎週水曜日午前10時から11時半まで志津南公民館で行っていますが、「週二回やりたい!」という声もあり、7月からは月曜日の午後も教室を開こうと準備中です。

6月26日(月)午後1時から体験教室を予定しています。興味のある方はのぞいてみてください。



私の住む岡本町は自然に恵まれていて、引越してきた4年前の冬には、家の近くを大きな鳥が歩いており「孔雀がいる!」と驚き(近くの人に尋ねキジと判明)、春になるとウグイスが何羽もやってきてはさえずる。ツバメが巣を作り、ヒナたちの鳴き声、飛び練習も見られる。

都会に住む子供たちが、見るこの出来ない風景に出会える町です。

なかでも一番の驚きと感動がホタルです。梅雨時期になると、数多くのホタルが伯母川をほんのり照らします。ご近所さんと「今日、ホタルいっぱい

「など」と連絡を取り合い、ホタル観賞会が毎晩のように行われます。

しかし、今年は伯母川に重機が入り、草や土砂がすつかり取り除かれてしまいました。川底も見えて、とてもきれいなのですが、ホタルが多かった葦の茂みもなくなり、ホタルは大丈夫なのか、とても心配です。

ホタル、大丈夫?

毎年多くの方が、ホタル観賞会をされていると思うのですが、この恒例行事はこの先どうなつてゆくのでしょうか? 志津南地区の大切な自然の財産をみんなで守つていきたいなあと考えるこのころです。

(岡本町 N)

お知らせ

一斉清掃と夏まつり
志津南地区自治連合会は恒例の町内一斉清掃とふれあい夏まつりを次の日程で行います。

町内一斉清掃
7月2日(日) 9時から
雨天の場合は7月9日にふれあい夏まつり
7月22日(土)

詳細は後日ご案内します。多数ご参加ください。